

(資料⑥)

令和 6 年度（第 36 期） 事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日



一般財団法人 付知町振興公社

令和 6 年度（第 36 期）事業報告の概要

（道の駅花街道付知）

岐阜県及び中津川市林業振興課による「木遊館サテライト施設」の建設工事が令和 6 年 2 月中旬より始まり令和 6 年 7 月中旬に完成、8 月よりオープンし多くの親子連れが来場した。改修に伴い休憩室、書庫を兼ねた商品及び備品倉庫（バックヤード）を、売店内奥に創設移転することとなった。また、ソフトクリーム売り場も売店前の回廊に移転、4 月中旬に完成開業した。移転費用は林業振興課と観光課にて賄われたが、移転に際して、照明具、コンセント等、備品、設備費用が掛かることとなった。

工事の影響もあってか 4 月、5 月の来場者は前年を下回り、売り上げが上がらない状況だったが、夏場に入り、猛暑が功をなしてか付知峡などに観光客が増え前年を上回る来場者となり、ソフトクリームの売り上げは 800 万を超える最高の売り上げだった。

またインバウンド客も増えて、キャンピングカーで車中泊する姿も多くみられた。秋も好調が続いたが、冬場の落ち込みは相変わらずで、秋までの平均売り上げの 1/3 まで落ち込み、今後は官民、地域一体となった冬場の観光対策を検討する必要があると感ずる。そんな中で冬場の売上向上のため、飛騨牛牛まんや、焼き芋、試験的に始めたたこやきも好評だった。

全体の売上は 9,746 万円（前年比約 11%増）、263 万円の営業利益となった。

売店においては、前年度より始まったインボイス制度による価格の見直しをしたこと、食堂においては新札が発行されたため券売機の入替えにともない単価を見直したことが利益増額に繋がった。

地域事業としては、地元のイベント（昭和モーターショー、森林の市、夢まつり、レディースクラフトフェア等）が例年通り開催された他、ミニクーパーのイベント、音楽フェスティバルなどが新たに開催された。概ね多くの来場者があったが、年々花街道駐車場がイベント来場者に占拠され、売り上げが逆に落ちる現象がみられた。こうした状況はイベント主催者側にも伝えているが、今後も改善に向けて協議し対策を続けていく必要がある。

また近年屋台村、ローソン、産直に車が飛び込む事故が発生しており車止めの設置が必要となったため中津川市予算にて施工して頂いた。また、時代背景を受け EV 充電器を 10 年経過したのを機に、場所を移転し、充電器を新しくし、委託管理を辞め充電器会社の直接管理となったことで、充電器電気代の赤字の解消となる。創業 35 年目を迎え、公園でも水道管の漏水が見つかるなど、野外ステージ、中央トイレを始め維持管理については、例年中津川市の予算による工事も含め、修繕を行ってきているが、今後将来に向けて維持・修繕費等の積み立ても必要と考えている。

（倉屋温泉おんぼいの湯）

温泉ブームが続き来館者が増えており、令和 6 年 9 月に来客数 300 万人突破記念イベントがおこなわれた。インバウンド客も増えており、昨年を上回る売り上げとなったが、電気代が高騰し利益を圧迫している。また市からの要望もあり、入れ墨を施した来館者の受け入れも始まったことから、そうした方からの感謝のご意見もある一方で、クレームも少なくない。一方温泉においても老朽化が進んでおり、地盤沈下等による建物の傾きを始め根本的な大改修が望まれるような大きな問題も出てきている。また、従業員の高齢化（平均年齢 68 歳）が進んでおり対策が急務である。

倉屋温泉売上は前年比約 4%増の 1 億 2 千 116 万円（約 441 万円増）営業利益は 813 万となった。